

むいから民家園事業

むかし こまえ 狛江で

2023年7月29日

紙芝居「戦争と狛江の子ども達」継承グループ&こまえ平和フェスタ実行委員会は教育委員会の事業の一つとして、むいから民家園で「むかし こまえ 狛江で」と題する子どもから大人向けの企画を7月29日（土）午前中に実施しました。

実施内容は別紙、プログラムを参照してください。

○30名を超える参加者がありました。継承グループ10名、実行委員2名など関係者

15名に、子ども4名、大人12名ほどでした。

猛暑の中、子どもは少なかったですが、それなりの参加があり、ほっとしました。

○紙芝居「戦争と狛江の子ども達」をはじめ、狛江にちなむ3作品の紙芝居、戦争にちなむ多彩な

絵本、多摩川を題材にした朗読、色々な歌あり、手遊びあり、虫の声のクイズありと多彩な催しでした。風通しの良い古民家でさわやかな2時間を過ごせたと思います。

○参加者からは紙芝居のみならず、関連性のある絵本や朗読があって良かった。歌も関連性のあるもの～初めて知りました。ミニ知識も散りばめられてて…知識も得られ、そして楽しく、とてもよかったと好評でした。

○開催時期の問題など反省もありましたが、私たちが目指している紙芝居の継承活動として、大事な一歩・二歩を踏み出しました。



紙芝居「戦争と狛江の子ども達」を上演



焼夷弾の手作り模型を使って説明する佐久間副実行委員長(右)と大熊実行委員長(左)



紙芝居「カッパのクー助」



絵本「ぼくがラーメンたべてるとき」



絵本「タケノコごはん」



上左:参加した方々。上:虫の声クイズの場面
下左:トークと歌で皆さんを和ませた司会
中:絵本「へいわとせんそう」
右:絵本「おしっこぼうや」

